

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成19年6月7日(2007.6.7)

【公表番号】特表2007-503592(P2007-503592A)

【公表日】平成19年2月22日(2007.2.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-007

【出願番号】特願2006-532407(P2006-532407)

【国際特許分類】

**G 0 1 N 27/62 (2006.01)**

**H 0 1 J 49/16 (2006.01)**

**H 0 1 J 49/04 (2006.01)**

【F I】

**G 0 1 N 27/62 V**

**H 0 1 J 49/16**

**H 0 1 J 49/04**

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月13日(2007.4.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の表面を有するポリマー基材と、

前記ポリマー基材の前記第1の表面の上の複数の細孔と、

前記複数の細孔の少なくとも一部の上のコーティングと、

を含み、分析物を受容し、後に前記分析物を脱離させるように構成される、多孔性ポリマー物品。

【請求項2】

前記コーティングがダイヤモンドライクガラスを含む、請求項1に記載の多孔性ポリマー物品。

【請求項3】

第1の表面を有し、充填剤を含有するポリマー基材と、

前記ポリマー基材の前記第1の表面の上の複数の細孔と、

を含み、分析物を受容し、後に前記分析物を脱離させるように構成される、多孔性ポリマー物品。

【請求項4】

前記充填剤が、金属粒子、金属酸化物、炭素粒子、またはそれらの組合せを含む、請求項3に記載の多孔性ポリマー基材。

【請求項5】

高密度ポリエチレンを含む、請求項3に記載の多孔性ポリマー基材。

【請求項6】

粒状充填剤を含有する熱誘起相分離されたフィルムを含むポリマー基材と、

前記ポリマー基材中の複数の細孔と、

を含み、分析物を受容し、後に前記分析物を脱離させるように構成される、多孔性ポリマー物品。

【請求項7】

前記ポリマー基材が高密度ポリエチレンを含む、請求項6に記載の多孔性ポリマー物品。

【請求項8】

前記粒状充填剤が、金属粒子、金属酸化物、炭素粒子、またはそれらの組合せを含む、請求項6に記載の多孔性ポリマー物品。

【請求項9】

ダイヤモンドライクガラスのコーティングをさらに含む、請求項6に記載の多孔性ポリマー物品。

【請求項10】

試料材料を受容するように構成された多孔性ポリマー基材を提供する工程と、高エネルギービームを用いて前記基材から分析物を脱離させる工程と、脱離された分析物を質量分析計を用いて分析する工程とを含む、試料材料の分析方法。

【請求項11】

前記多孔性ポリマー基材が粒子充填剤を含有する、請求項10に記載の試料材料の分析方法。

【請求項12】

前記多孔性ポリマー基材がコーティングを有する、請求項10に記載の試料材料の分析方法。